

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 3日更新

事務事業名		交通安全協会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	建岡純雄
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	長島正和
	基本事業	8	交通安全意識の高揚			所属班	交通防災班	(内線)	1223
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10037	法令根拠	大津地区交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果：⑩ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 39 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	交通の安全と円滑化、交通安全思想の普及徹底のため、交通道德の高揚並びに会員相互の融和等の支援を行う。増加する交通事故の抑止と、交通安全活動の啓発及び交通安全運動の推進に寄与することを目的に事業が開始された。交通安全協会加入数が減少傾向にあることから、事業費も減少し活動に支障がでる。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)
【業務の流れ】	
【主な予算費目】	
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	補補助金の支給。	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
への出席。	毎年1回の総会	H21年度と同じ
その他協会主催の行事へ参加。		
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア 協会主催行事への参加回数	回	
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	大津地区交通安全協会合志支部	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 団体
		→ ア 支部数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	交通安全意識が高まる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 団体
		→ ア 交通安全教室を開催している団体数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	0	0	25	0	25	0	0
	イ								
② 対象指標	ア	団体	1	0	1	0	1	0	0
	イ								
③ 成果指標	ア	団体	70	77	100	82	100	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	947	2,945	2,920	2,491	2,920	
	(A) 事業費計	千円	947	2,945	2,920	2,491	2,920	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	2,435	2,006	2,435	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	0	3	3	3	0
	延べ業務時間	時間	200	0	200	210	200	0	0
	(B)人件費計	千円	800	0	796	865	824	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,747	2,945	3,716	3,356	3,744	0	0

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	交通安全協会運営支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年度当初の事業計画が実行できたかどうかを成果指標としており、現状では100%達成できているので、向上の余地はない。今後も現状を維持していくものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 大津地区交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱により補助対象経費が規定されており、協会の運営に必要な経費だけの補助である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援業務であり、公平である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						